

補助事業評価シート

該当する個別目標 - 5 心身ともに健やかにくらせるまち

			番号	14	
補助事業名	看護高等専修学校事業助成	所管部課	健康部健康推進課	事業開始年度	5 年度
根拠法令(要綱)等	新宿区医師会立看護高等専修学校運営補助金交付要綱				
20年度決算額 補助率	2,700,000 円 10/10(上限あり)	補助対象団体(者)	社団法人 新宿区医師会		
補助することで達成しようとしている区の目的	区民の健康を守るための身近な医療を充実させる				
団体(者)に対する直接の助成目的	新宿区医師会立看護高等専修学校(以下「看護学校」という。)の教育内容の充実及び看護職員の資質の向上を図る				
補助金の申請	補助金の交付申請にあたって提出する書類・添付書類 ・看護学校事業概要 ・養成所運営収支予算書 ・養成所運営費所要額調書	補助金の清算/実績報告	清算/実績報告にあたって提出する書類・添付書類 ・看護学校事業実績報告 ・補助金清算書(養成所運営費実績調書) ・学校会計収支計算書 ・定着率向上策		
	審査の体制・考え方(区職員による審査又は公募委員を入れての審査、補助金の目的とする具体的な取組内容を記載した事業計画書を提出しているか、どのように審査しているか等) ・区職員による審査 ・事業概要、収支予算書をもとに審査しています。		審査の体制・考え方(清算/実績報告時の審査体制、助成の目的・決定内容に照らして、自己評価・活動成果の公表状況を踏まえ、予定していた目的・成果が達成できたか、どのように審査しているか等) ・区職員による審査 ・事業実績報告書(専任教員の雇用実績) ・定着率向上策等を審査しています		
今後の課題	准看護師養成は、現在の医療事情からみて必要性が高いものとは言えません。卒業生の区内医療機関への定着率も低い状況です。				
補助金の評価	<p>総合評価(A・B・C・改正)とその理由  <b>総合評価: C</b>  <b>理由:</b> 卒業生の大多数がそのまま正看護師になる学校に進学しており(卒業生30人中進学者28名 進学率93%)、准看護師養成の必要性が現在では高くないこと、また、卒業生の区内定着率が上がっていないことです。</p> <p>区と補助対象者との役割分担                  この補助金において、区は看護学校が行う看護職員の養成に要する経費の一部を負担し、看護学校は新宿区内で働く看護職員の養成に努めています。</p> <p>目標の設定                  目標設定は、看護職員を養成するという点では妥当ですが、時代の変化とともに卒業生の区内医療機関への就職率や在学中の区内診療所での就労率が低くなっており、見直しが必要です。</p> <p>代替手段・効率性                  区民の健康を守るため、身近な医療に従事する看護職員の育成を目指しています。在学中は約40%の学生が区内診療所に就業していますが、卒業後の区内就職率は低く(平成20年は30名中1名 3%)、現在では直接区民の健康を守る対策とはなっていません。</p> <p>目標の達成状況                  卒業生の区内定着率向上を看護学校に要請していますが、目覚ましい効果はあがりません。</p>				
今後の改革方針	卒業生の区内医療機関への定着率を見ながら、補助金の廃止も含めた抜本的見直しに向け、区民健康センターのあり方と併せて医師会との協議を続けていきます。				